

トヨ子&としやの 市政報告

2016年
1月
第6号

発行者：日本共産党大垣市議団
発行日：2016年1月1日
連絡先：大垣市室本町5-8
Tel 78-6865 Fax 73-8572



笹田トヨ子 文教厚生委
子育て支援日本一対策委員長
Eメール sanba1@sasada-toyoko.jp
中田としや 企画総務委
Eメール nakatatoshiya015@gmail.com



新春座談 笹田・中田市議が語る2015→2016年 安倍政治に抗して市政・市民を守る

—新年、おめでとうございます。
笹田・中田 おめでとうございます。

—昨年は市議選で共産党が2議席と、20年来の議席増を果たしたのですが、新議員の中田としやさんは、当選をどのような思いでむかえましたか。

中田 私の人生でも五指に入る衝撃でしたね。当選を聞いた瞬間のほっとした気持ちや喜び、議員として皆さんへの期待に応えなければという思いで、心が揺さぶられました。

—共産党の議席が2議席になってどのような変化を感じますか。

笹田 他の議員さんや市の職員の方々など周囲の眼の変化を感じますね。市民の皆さんへの期待も大きくなって、2人ともども気を引き締めています。

今まで1人で確信の持てない不安もありましたが、2人での検討による判断となって、気づかない点も指摘しあい巾の広がりを実感します。

—2015年の市議会はどう振り返りますか。

中田 選挙の余韻も消えないうちの6月議会は質問も板につかれない感じでしたが、公約に沿って若者の視点から奨学金増額などを質し、傍聴者からなんとか及第点がもらえたようです。9月議会・12月議会と重ねてきて、市政への幅広い研究が必要なことを痛感しています。

笹田 議席増もありますが、市民ネットの方々など他の会派との共同もすすみ、議会改革については、一般質問のテレビ放映が実現することになりました。

戦争法の廃止を求める統一署名(戦争法廃止2000万人署名)

連絡先：日本共産党西濃地区委員会事務所
住所：〒503-0911 大垣市室本町5-8

署名用紙は左記にお届けください。



たくないのでしょうか、若者・子育て世代・高齢者の生活は厳しさを増しています。過酷な国政に、少しでも市政が防波堤にならねばと思っています。

養老鉄道の存続や高齢者にやさしい地域公共交通も整えていかねばなりません。

中田 子供の貧困問題については、市も調査を検討すると言ってくれましたので、具対策がとれる



たけだ良助
長野県常任委員
新年のあいさつ

あけましておめでとうございます。昨年3月に比例候補として発表されて9ヶ月、参院選での躍進をめざして活動してきました。子どもたちは日々大きくなります。「うちの子も、一人の青年も戦場に送らない」。搖るがぬ決意でがんばります。

参院選の告示まで、半年はありません。毎月、毎週、毎日の活動で躍進を手繕り寄せる構えで頑張り抜く決意です。



まで追求していきます。それに市庁舎建設設計画が進んでいますが、市民生活を圧迫しないように、財政的な裏づけについて研究を進めて、無駄な出費をしないような監視を強めていきたいと思っています。

—2016年は、国政に市政にいつそう厳しさの増す年。国民的な共同の拡がりに希望をもって力強く進みたいですね。



高木 光弘
党県常任委員
新年のあいさつ

新年あけましておめでとうございます。昨年、「国民連合政府提案」が出されて以来、あらゆる機会でその中身を訴えてきました。私自身反戦平和を貫いてきた日本共産党の一員であることに日々誇りを感じています。戦争か平和かの大きな転換点に立っていることを自覚し、参院選での日本共産党的躍進と戦争法廃止へみなさんと一緒に奮闘します。今年もどうぞよろしくお願いします。

一般質問 笥田トヨ子市議 養老鉄道存続について

笥田「今やるべきことは法定協議会の設立ではないか」
 市長「現段階では設立できない」

12月議会的一般質問で、 笥田議員は、養老線存続問題について

「今必要なことは、存続させるという市長の決断であり、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく法定協議会の設立ではないか」と迫りました。

これに対して、市長は「沿線市町の首長と近鉄で養老鉄道の事業再構築に関する考え方について意見交換を行なっている。」「法定協議会は双方の協議が整った段階で設置する」というものでした。この答弁では、近鉄に何を要求し、どのような合意を得ようとしているのか、市民に全く明らかにしていません。

2回目の質問で、①近鉄が提示した経営改善策の試案は赤字になっている。定期外利用者を増やすなど赤字解消の見通しを出すべきである。②再構築事業のスキーム例では、全て土地所有は近鉄になっている。鉄道事業から撤退する近鉄に対して、土地も含め鉄道資産は新鉄道事業者に譲渡をすべきで、なぜ土地の譲渡を要求しないのか。③養老線の教育・福祉・地域経済

等に与える社会的便益調査を求める。

以上3点について質問しましたが、全く答えてもらえませんでした。

法定協議会の「計画」で国支援が受けられる

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律は、平成26年に一部改正され、「人口減少や高齢化が進展する中、地域の活力を維持し強化するため地域公共交通ネットワークを確保することは喫

緊の課題」と位置づけています。まさに養老鉄道の存続問題はこれにあたり、自治体が先頭に立ってこの課題に向き合うことが求められています。

この法律は「地域公共交通網形成計画」と「地域公共交通再編実施計画」を策定するにあたり、法定協議会を立ち上げ、自治体、公共交通事業者、道路管理者、公安委員会等の他、利用者の参加を求めています。この法定協議会で策定された計画が認定されて、はじめて国の支援を受けることが出来ます。



12.12さよなら原発パレードin大垣

共産党と市民ネットワーク 議会改革で要望書

12月21日、共産党と市民ネットワークは、議長に対し、議会改革の要望書を提出しました。その内容は、

議員定数の12分の1以上の賛成で議案提案権を得ることが出来ます。

(地方自治法第112条)しかし、会派から意見書提案や議会運営委員会に委員を出すには「3名以上」必要です。地方自治法に則り、それぞれを「2名以上」に改正するよう求めました。

中田としや市議 育休退園問題

「聞き上手でメモをとり、頷きながら聞いてくれた」「市長の考え方『子育ての大変さは喜びでもある、私も三人育てた』一がよく分かった」

地域の子どもをみんなで育てていきたいグループ「こども☆はぐ組」会議での「かがやき市長トーク」企画の振り返りにお邪魔しました。市長の子育て観が判明し、また実情を直接届けることができたことの手応えについては一定の評価がありました。

「市長『育休退園はまずいか…』そう険しい顔で呟いた気がするくらい、各参加者の話は胸に迫るものがあった」

私からも、「一般質問に傍聴に来

て頂き感謝。隠れ待機児童問題と育休退園制度の原因は、保育士不足にあると考えている。待機児童解消のために、正規職員の募集を増やしてはどうか」と議会で発言したことを紹介しました(なお、18日の委員会で4月採用で保育士5人募集すると発表有り)。

続けて、「議会で、他会派議員からも育休退園制度について改善要望があり、議員も問題視している」と報告しました。今後は、議員との懇談、署名集め&担当課への要望作戦を予定しています。

「市長は『私は数字を信じている。大垣市は保育園利用率等トップクラス』と言っていた。ならば、署名の数字を信じてもらおう!」と力強いお言葉も飛び出しました。

みなさんも、ぜひ署名にご協力をお願いします。

トヨ子&としやの12月活動日誌

笥田トヨ子

- 5日 興文地区社会福祉大会
- 6日 市政報告会
- 7日 本会議(第1日目)
- 12日 さよなら原発パレード
- 14日 一般質問
- 16日 子育て・市民病院委員会
- 17日 建設環境・経済産業委員会
- 18日 文教厚生・企画総務委員会
- 19日 12・19総がかり行動
- 21日 本会議
- 25日 社保協自治体キャラバン
地域交通研究会
- 27日 夜警激励会

中田としや

- 6日 ようこそ先輩模擬投票
- 7日 本会議(提案説明)
- 12日 さよなら原発パレード
- 14日 一般質問
- 16日 子育て・市民病院委員会
- 17日 建設環境・経済産業委員会
「はぐ組」市長トーク振り返り会
- 18日 文教厚生・企画総務委員会
- 19日 西松町議当選祝・江並団地署名
- 21日 本会議(採決)議員部長級懇親会
- 22日 南地域街宣、近藤ゼミ
- 24日 議員団会議
- 28日 市役所仕事納め式